

製品名: カドヘリン 20 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07830**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CDH20
別名	CDH20; CDH7L3; Cadherin-20
遺伝子 ID	28316.0
SwissProt ID	Q9HBT6
免疫原	抗血清はヒト CDH20 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

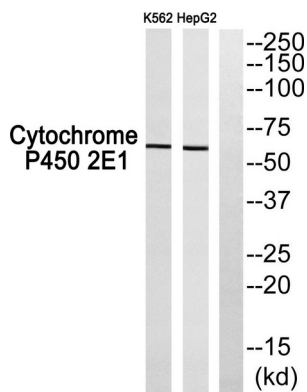
この遺伝子はカドヘリンスーパーファミリーのタイプ II 古典的カドヘリンであり、18 番染色体上のクラスターに位置する 3 つのカドヘリン 7 様遺伝子の 1 つです。コードされている膜タンパク質はカルシウム依存性細胞間接着糖タンパク質で、5 つの細胞外カドヘリ

ンリピート、膜貫通領域、および高度に保存された細胞質テールで構成されています。タイプII（非定型）カドヘリンは、タイプIカドヘリンに特異的な HAV 細胞接着認識配列を欠くことで定義されます。細胞内接着の障害は腫瘍細胞の浸潤および転移の必要条件であるため、カドヘリンは腫瘍抑制遺伝子の第一候補と考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],function:カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。、function:カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、同種親和的に相互作用することを優先します。このように、カドヘリンは異種の細胞タイプの選別に寄与する可能性がある。、類似性:5つのカドヘリンドメインを含む。、組織特異性:胎盤、成人の脳、胎児の脳で発現する。、

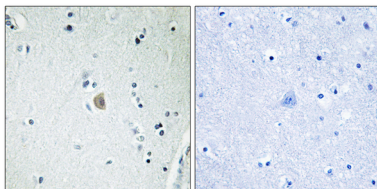
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

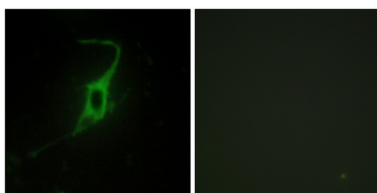
画像データ



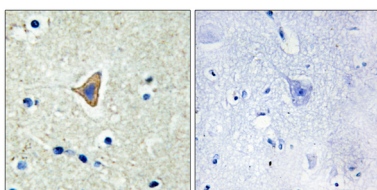
CDH20 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが CDH20 ペプチドでブロッキングされている。



CDH20 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右レーンが CDH20 ペプチドでブロッキングされている。



CDH20 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDH20 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。